

## 5. 事業名 平成28年度「教員免許状更新講習」～学習指導・学級経営に生かす体験活動～

### 1 事業の必要性

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入された。教員免許更新制は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけることで、教員が自信と誇りをもって教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることをめざすものである。昨今、教員の体験活動の指導力不足が指摘されていることから、本講習における多様な講義・実習をとおしてスキルアップを図る必要がある。

### 2 趣 旨

教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童・生徒の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な知識や技術を身につける。また、学習指導要領における体験活動の位置づけについて理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法等を講義や実習をとおして習得する。

### 3 事業の特色

- 1泊2日の日程で選択18時間の受講修了が可能である。
- 講義「子どもを取り巻く教育の現状と課題」「教育課程と体験活動の関連性」においてはその分野の最前線で研究をされている大学教授等を講師とすることで、教育効果の高い講習をめざす。

### 4 期 間

平成29年3月11日（土）～平成29年3月12日（日） 1泊2日

### 5 企画・運営のポイント

- 講義においては教育課程に位置づけた体験活動の実践事例を紹介する場面を設け、学んだ知識をどのように生かすことができるかを提示することにより、受講した先生方が学校現場に戻り、今後の実践に活用できるようにする。
- 「野外活動の技術と指導」を内容ごとに6つに分け、それぞれの講義・実習において理論と実技をバランス良く取り入れ、受講された先生方にも体験活動の効果を実感してもらえようとする。
- 1泊2日で18時間の講習ということで時間的に過密ではあるが、タイムスケジュールにできる限り余裕を持たせ、受講した先生方にとってスムーズな講習となるよう心がける。
- 全ての講義・実習でまとめの時間を設け、受講された先生方が講習内容を振り返る時間を設定する。

### 6 成 果

- 外部講師を招いての講義や領域ごとの実習を通じた指導技術や安全管理の講義・実習を通しての講習により、受講者から「とても詳しく分かりやすかった。」「多くのことを体験し、学ぶことができた。」等の感想が得られ、体験活動の必要性の理解、実践意欲の向上につながった。
- 班活動を取り入れたことで、様々な校種の先生方のネットワークづくりにつながった。

### 7 課 題

- 「体験活動の指導法」については、最新の情報を取り入れた内容を準備しているが、今後も6つの領域編成も含めて、よりよい講義・実習になるように研究していきたい。

## プログラム・日程

	8:00	8:30	9:00	10:30	10:45	12:45	13:30	15:00	15:30	18:30	19:00	21:00	21:30
1日目	受付	開講式	講義Ⅰ 「子どもを取り巻く教育の現状と課題」		講義Ⅱ 「教育課程と体験活動の関連性」	昼食	実習・講義 「体験活動の指導法①」		実習・講義 「体験活動の指導法②」		実習・講義 「体験活動の指導法③」	入浴	情報交換
2日目	朝食	実習・講義 「体験活動の指導法④」		実習・講義 「体験活動の指導法⑤」	昼食	実習・講義 「体験活動の指導法⑥」		講義Ⅲ 「体験活動の指導法」		「履修認定試験」	閉講式		解散

## 活動の様子



講義Ⅱ「教育課程と体験活動の関連性」



実習・講義「集団ゲーム・レクリエーション」



実習・講義「体験活動の指導法(野外炊飯)」



実習・講義「体験活動の指導法(野外炊飯)」



実習・講義「体験活動の指導法(オリエンテーリング)」



実習・講義「体験活動の指導法(ニュースポーツ)」

○参加実績:101名

○参加者の感想

- ・実際に体験することとおして、活動の価値を見いだすことができた。
- ・どの講義・実習もとても楽しかったです。体験とおしながらの講習だったので理解しやすかった。
- ・寒かった。でもとても楽しい2日間でした。この楽しさを子供たちにも伝え、味わわせたいと思う。
- ・学校教育にもっと積極的に体験活動を取り入れていくべきだと感じました。
- ・スケジュールを見たときはびっくりしましたが、とても充実した2日間でした。
- ・異校種の方々と交流できてよかった。
- ・自分の子供が小さいときに、この自然の家に遊びにつれてくればよかったと後悔しています。
- ・どの職員の方もハキハキと機敏に行動されていて、元気をもらいました。